**梅隠**

梅隠の中には、茶道（茶の湯）の発展に多大な影響を与えた著名な茶人、千利休（1522～1591）の孫である千宗旦（1578〜1658）好みの様式の伝統的な茶室のレプリカがあります。

ほとんどの茶室の場合、訪問客は外から直接茶室へ入りますが、それとは異なり、梅隠には屋根と土壁に囲まれた飛び石のある通路があります。中に入ってすぐの4畳半の茶室は、千宗旦の設計図を元に建てられ、小間の後ろに広間があります。茅葺き屋根や土壁、そして茶室内部の様子は、茶の湯をたしなむ人々が大切にしている侘び寂びの美学を反映して、素朴な美しさという印象を作り出します。